

中活協通信



平成27年9月
滝川市中心市街地活性化協議会

●お知らせします。

定期総会以降に取り組みがなされた中心市街地活性化に向けた活動について、お知らせいたします。

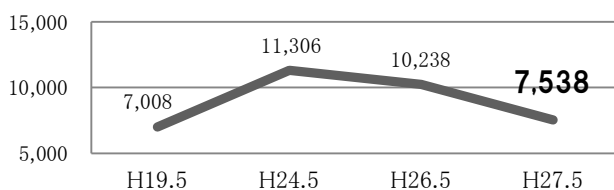


●H27 中心市街地通行量調査

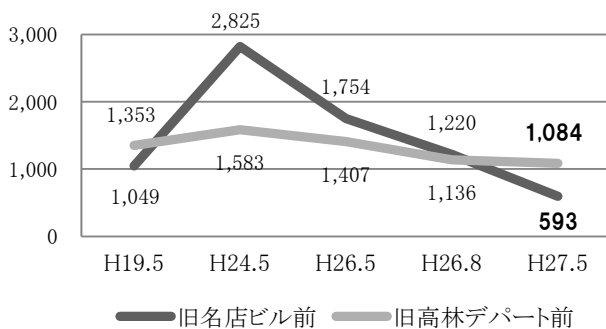
定期総会で予算化されました中心市街地歩行者通行量調査を平成27年5月に実施しました。

調査結果としては、平成20年3月に策定した中活計画に基づく各種事業を実施して以来、1万人前後の通行量で推移していましたが、今年度の結果については、下記のグラフのとおり前年比で大幅な減少が見られました。

中心市街地通行量調査結果（合計）



主な2地点の推移



今回の結果としては、高林デパート前と旧名店ビル前の通行量減少が顕著でした。これは、栄町3-3地区の商業機能が大きく低下し、市民の皆さんが栄町3-3地

区やその周辺を訪れる動機を失ったことが最大の原因と考えられます。

今後、栄町3-3地区の再開発事業を推進することにより通行量の増加、ひいては賑わいに繋がっていくことが期待されます。

●栄町3-3地区再開発事業

昨年度、株式会社アニメ滝川（以下、「アニメ社」）に業務委託し、「栄町3-3地区再開発事業実施計画」（以下、「実施計画」）を策定しました。

平成27年度、アニメ社は当協議会が策定した実施計画に基づき、旧高林デパートの敷地において栄町3-3地区の再開発事業を実施することとなりました。

アニメ社は再開発事業の実施にあたり滝川市へ補助を申請し、7月8日付で補助金の交付決定を受けています。

平成27年度は、来年度以降に予定される解体・新築工事に向けた設計、各種調査、測量などが実施される予定です。



また、現状、栄町3-3地区再開発事業は旧高林デパート敷地のみを施行区域として事業計画が立てられていますが、旧名店ビルの建物に係る権利者の1者である「株式会社金市館」からアニメ社に対し、旧名店ビルに係る土地及び建物の権利を一本化し、アニメ社へ売却したいという打診がありました。

これとは別に、旧高林デパートと旧名店ビルの間にある「株式会社丸エ工藤商店」の代表者からもアニメ社に対し、所有する土地及び建物について売却の打診がありました。

これに対し、①20年以上放置されてきた旧名店ビルを今回の再開発計画に取り込むことは、栄町3-3地区のみならず滝川市中心市街地の活性化に大きく寄与するものであること、②2つの大型空き店舗に挟まれた工藤商店も築後40年以上経過していることから、この機会に譲渡を受け、大型空き店舗と併せて一体的に再開発することが適当と考えられること、③旧高林デパート敷地のみの事業と比較して、駐車場や歩行者の動線などが十分に確保でき、また、医療福祉施設においても階数を減らし1フロアあたりの面積を広くすることで各種コストの低減を図ることができるなど、施設利用者の利便性や再開発事業の経済性向上が見込めること、などの理由から、アニム社は、事業区域を拡大することを念頭に各権利者と交渉することとしました。

この基本方針に基づき、アニム社ではそれぞれの権利者と売買金額・条件などについて交渉してきましたが、旧名店ビルについては、去る8月31日、契約が成立し、アニム社が土地・建物を取得しました。

今後は、残る工藤商店の土地・建物取得に向け交渉を続けるとともに、再開発事業の計画変更を急ぐこととしています。

【事業概要】

事業名 … 滝川市栄町3-3地区優良建築物等整備事業

施行者 … 株式会社アニム滝川

施行区域 … 栄町3丁目3番（旧高林デパート敷地）

施行面積 … 約0.4ヘクタール

事業期間 … 平成27～29年度（予定）

総事業費 … 約25億円（予定）

施設用途 … 信用金庫本店、医療・福祉施設（計2棟）

H27予定事業費 … 1億1,700万円

（うち、補助金額 … 7,800万円）

※ 事業概要は当初申請時の内容です。



●たきかわ商品券（プレミアム付き商品券）

国の補正予算（地域住民生活緊急支援のための交付金）を活用して、滝川プレミアム商品券発行事業実行委員会から「たきかわ商品券」が発行されました。

この事業は、エネルギー価格の高止まりなど物価動向や消費に関する地域の実情に配慮しつつ、地域の消費喚起など景気の脆弱な部分にスピード感をもった経済対策や市民生活応援対策、市内の消費需要の喚起による地域経済の活性化を目指して実施され、発行された商品券は完売となりました。

たきかわ商品券は、プレミアム率20%（1セット10,000円で販売 ⇒ 12,000円分利用可能）とお得で、商店街・燃料販売店・飲食店・住宅リフォーム店など、多くの分野から参加されていることから利便性が高くなっています。



利用できる期間やお店については、インターネットで滝川商工会議所ホームページをご覧ください。

「滝川商工会議所 たきかわ商品券販売」

<http://takikawacci.or.jp/pdf/tirasi8.4.pdf>

「たきかわ商品券 登録店名簿」

<http://takikawacci.or.jp/pdf/tokutokumeibo8.17.pdf>

●地域おこし協力隊（商業部門）

滝川市商業観光課では、昨年の観光部門に続き、商業部門として「滝川市地域おこし協力隊」2人を募集し、8月に1人を採用、9月に1人を採用する運びとなりました。

任期中は、“たきかわクリエイターズショップ「匠」”（栄町2丁目1-1、旧秋野薬局、9月14日オープン予定）を共通の活動拠点として、地域資源を活かした商品開発、開業準備及び商店街の活性化など、商業による地域おこし活動に従事していただきます。

任期終了後には、それぞれのスキルを活かした店舗を商店街等に構えていただき、空き店舗の解消、担い手としての活躍が期待されます。

採用実績 2名

佐藤 利彰さん（札幌出身）… 革職人



加藤 明恵さん（千歳出身）… キャンドル職人



●滝川駅前広場整備事業

駅前広場の整備については、交通結節点としての機能強化に加え、バリアフリーの推進にも重点が置かれ、機能性や利便性、安全性に配慮した空間となる予定です。さらに、南側に拡張する計画となるため、駅前広場の入口にあたる蔵前通・鈴蘭通との交差点部分の改良も行われます。

平成26年度に用地買収等の事業用地処理が実施され、平成27年度は、主に駅前広場内の既存施設の撤去工事や南側の拡張部分の工事が実施されますが、現在の車の流れに大きな影響を与えない範囲で工事を行うこととされています。

工事期間中は、仮歩道を設置し、施工中には交通誘導員を配置するなど、安全の確保にも配慮される予定です。

【事業スケジュール】

平成27年度 … 本工事（1年目）

平成28年度 … 本工事（2年目）【完成予定】



●店舗リノベーション支援事業

この事業は、地権者等が賃料を減額することを条件に、指定区域（中心市街地エリア）における空き店舗等について、店舗又は事務所として活用する者に対して、滝川市が空き店舗等の改修に要する費用の一部を補助することで、空き店舗等の解消及び中心商店街の魅力向上を図ることを目的とするものです。

対象は、次に掲げる業態のいずれかに該当する営業を行う店舗等としています。（募集は終了しました。）

- A) ファーストフード、レストラン、食堂その他の飲食を提供する業態
- B) 自ら商品を製造し、及び販売する業態
- C) A・Bに準ずると市長が特に認める業態

補助実績 2件（補助金額 170万円）

①飲食業（「鮭 おくの」）

場所：旧ふくせい堂（栄町3丁目4-5）

内容：和食系の飲食店

②福祉サービス業（「ヒューマンインターフェイス」）

場所：ヘイワビル3階（栄町3丁目8-1）

内容：パソコンを使った障害者就労支援教育訓練と生産物の販売等を中心とした就労支援施設

●第3回「まちゼミ」開催

「まちゼミ」とは、各商店が講師となり、それぞれの専門知識や特性、ネットワークを活かして少人数のゼミナールを無料で開催することで、各商店の存在や特徴を知っていただくとともに、各商店とお客様との交流を通し、商店街及び各商店のファンづくりと地域の活性化を

推進するもので、滝川市では、たきかわ「まちゼミの会」が平成26年から開催しています。

【第3回「まちゼミ」の概要】

開催期間 … 6月20日（土）～7月31日（金）

参加店舗・講座数 … 27店舗参加・27講座開催

受講者数 … 151名（参考 第2回 … 85人）



平成14（2002）年に愛知県岡崎市で始まった「得する街のゼミナール（まちゼミ）」は、商店街活性化事業の三種の神器の一つと言われ、年々開催地域が増えている状況です。

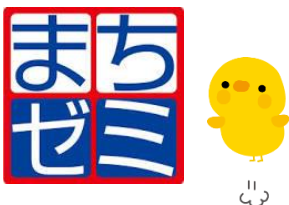
道内では、苫小牧市、富良野市に続き滝川市で開催して以降、旭川市、紋別市、札幌市でも開催されるなど、まちゼミの輪は拡大しています。

今回は、11月に第4回「まちゼミ」開催が予定されています。

インターネットでこちらのfacebook（フェイスブック）ページもご覧ください。

「たきかわ！まちゼミの会」

<https://www.facebook.com/takimachi>



●たきかわ！商店街情報サイト

「たきかわ！商店街情報サイト」では、滝川の商店街の取り組み等を随時お知らせしています。

詳しくは、インターネットでこちらのfacebook（フェイスブック）ページをご覧ください。

「たきかわ！商店街情報サイト」

<https://ja-jp.facebook.com/takibura>



●中活協基金の活用方策（意見募集）

4月に開催された定期総会では、中活協基金（空き店舗対策として、ベルロードへの新規出店者が負担するアーケード賦課金に対する補助金300万円（未執行））の活用についての検討が平成27年度の事業計画として承認されています。

中心市街地における課題、課題解決へ向けての基金活用方策などについて、9月15日までご意見を募集いたします。ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。

今後は、寄せられたご意見を参考に、役員会にて具体案を検討して参ります。

【滝川市中心市街地活性化協議会事務局】

◆滝川市駅周辺整備課

電 話 0125-28-8032（課直通）

F A X 0125-23-5839

e メール genki@city.takikawa.hokkaido.jp

◆滝川商工会議所

電 話 0125-22-4341

F A X 0125-23-5252

e メール info@takikawacci.or.jp